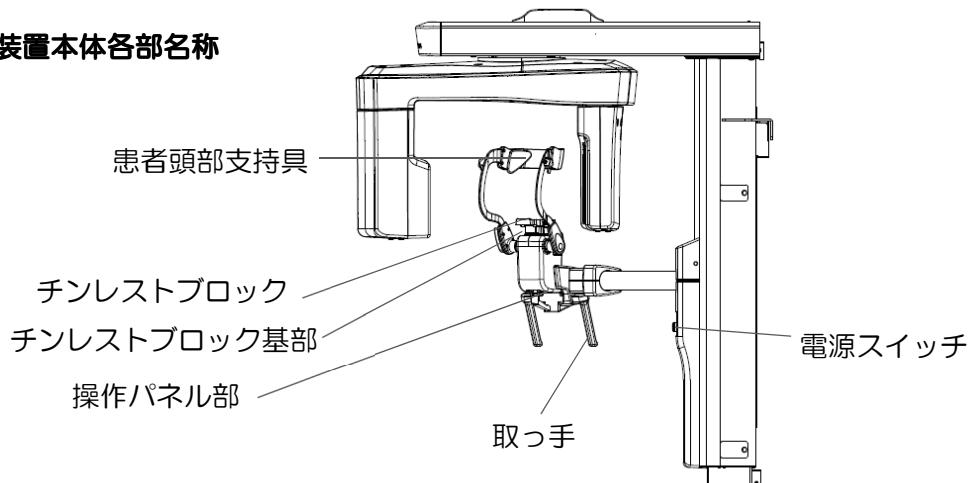




- 1.撮影中は患者を常に監察し、危険と判断したら直ちに撮影を中止してください。
2.位置付けビームは、目への悪影響の無い程度の出力（Class1）ですが、直視しないでください。

装置本体各部名称



1. 本体準備

チンレストブロックと顎押さえアダプタをチンレストブロック基部に取り付け、本体電源を入れます。（図1）

図1

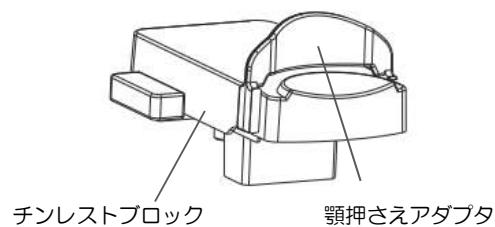
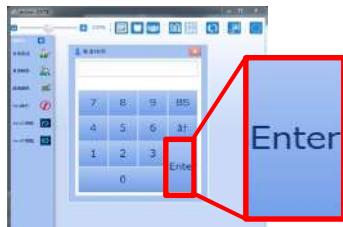


図2



患者検索画面

2. 患者選択

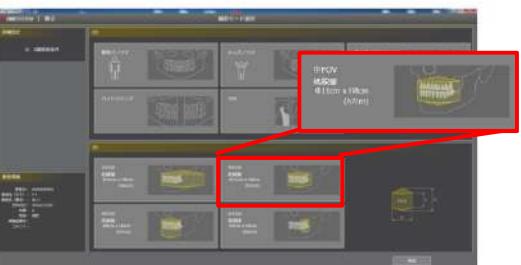
- アクションゲートを起動して患者検索画面を表示します。
 - 患者検索画面に、これから撮影する患者のIDを入力して **Enter** をクリックします。（図2）
 - メイン画面の左上に入力したIDに該当する患者が表示されます。
 - 患者名を確認した後、Menuの「Xera撮影」 をクリックし、ONESYSTEMの撮影モード選択画面を表示します。（図3）
- 補足：Trophyビューアをお使いの場合は、同時に Trophyビューア画面が表示されますが、そのまま撮影操作を続けて問題ありません。

図3



「Xera撮影」をクリックして ONESYSTEM を起動

図4



3. 撮影設定

■ONESYSTEM撮影モード選択画面が表示されたら、撮影モードをクリックしてください。図4では、例として「中FOV 低線量 φ11cm×H8cm」を選択しています。（図4）

■操作パネルの「RESET」 を押してください。

図5

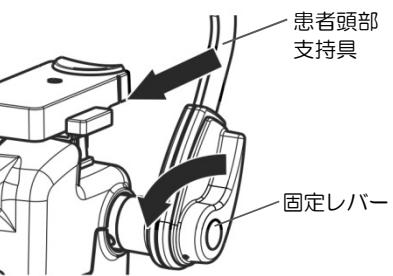


図6

スライドさせ、押付けノブの端面に撮影したいFOVの「▼」を合わせます。



図7



例) 下顎を撮影する場合
「Pan/3D Mandible」の下線部とチンレストカバー上面を合わせます。

図8



4. 患者導入

■患者頭部支持具の固定レバーを緩め、患者頭部支持具を前方に傾けます。（図5）
補足：患者頭部支持具の左右位置が中心にあることをご確認ください。

■患者導入前にチンレストブロック位置を適切な位置に合わせます。（図6）

図6では、例として「中FOV 低線量 φ11cm×H8cm」に合わせて「φ11▼」の位置を選択しています。

■目的の撮影の高さに合わせ、チンレスト部を昇降させます。（図7）

■患者を導入します。背筋を伸ばし取っ手を軽く握り、顎押さえアダプタに顎を当てるように指示します。（図8）



1. X線（レントゲン）撮影は有資格者が行ってください。無資格者のX線撮影は法律により禁止されています。
2. 患者にはX線防護エプロンを、子供の場合は更に甲状腺保護衣を着けてください。
3. 妊婦あるいは妊娠の疑いのある患者への使用は避けてください。
4. チンレスト位置は必ず、撮影モードに適した位置に設定してください。それにより、正しい患者位置付けを設定することが出来ます。

※ 詳しいお取り扱い方法については、各取扱説明書をご覧ください。

X-ERA NF/MF Quick Manual アクションゲートからの3D撮影編（中・大FOV）

● 発行年月日：2018年4月 第2版 ● 発行：株式会社 吉田製作所 ● 文書番号：XP81-取説-17



- 1.撮影中は患者を常に監察し、危険と判断したら直ちに撮影を中止してください。
2.位置付けビームは、目への悪影響の無い程度の出力（Class1）ですが、直視しないでください。

図9



■操作パネルの「BEAM」 を押すと、位置付けビームが点灯します。

■眼耳ビームの高さをヘッドカバーに貼り付けられているFOVマーカに合わせ、FOVの上端と下端を確認し、撮影目的の領域が入っているかを確認します。（図9）

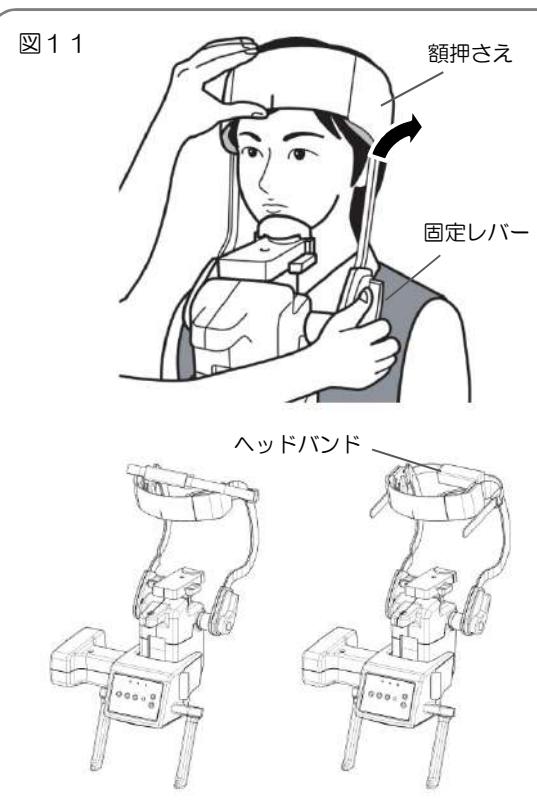
図10



5. 位置づけ（図10）

- 患者の正中矢状線を正中マークと合わせます。
■本体を昇降してカンペル平面と眼耳ビームを平行にします。

図11



6. 固定（図11）

- 額押さえを額にフィットさせ固定レバーで固定します。
■ヘッドバンドで後頭部を固定します。

7. 撮影

X線照射スイッチを押し、撮影を行います。

8. 画像転送～保存

撮影後、「完了」ボタンをクリックすると、確認ダイアログ（図12）が表示されますので、続けて診断される場合は「表示」をクリックしてください。

図12



- 注意**
1. X線（レントゲン）撮影は有資格者が行ってください。無資格者のX線撮影は法律により禁止されています。
 2. 患者にはX線防護エプロンを、子供の場合は更に甲状腺保護衣を着けてください。
 3. 妊婦あるいは妊娠の疑いのある患者への使用は避けてください。
 4. チンレスト位置は必ず、撮影モードに適した位置に設定してください。それにより、正しい患者位置付けを設定することが出来ます。

※ 詳しいお取り扱い方法については、各取扱説明書をご覧ください。

X-ERA NF/MF Quick Manual アクションゲートからの3D撮影編（中・大FOV）

● 発行年月日：2018年4月 第2版 ● 発行：株式会社 吉田製作所 ● 文書番号：XP81-取説-17